

二  
派  
遣  
部  
隊  
行  
動  
概  
要

1013

12

(一) 派遣部隊ノ編成左ノ如シ

茂山方面警備行軍部隊人員編成表

派遣中隊長  
芝岡

階級/区分	中隊		LA小隊		通信小隊		芝岡中隊長		合計	
	人員	馬匹	人員	馬匹	人員	馬匹	人員	馬匹		
中(少)尉	3	乘馬 1	1	馬 4	1	乘馬 1	1	馬 2	5	乘馬 3
准尉	2								3	馬 4
曹長	2								2	
軍一伍	3		1		2		1		8	
上等兵	19		4		3		1		27	
一二等兵	98		19		17		15		159	
主計下士官	1								1	
衛生下士官	1								1	
衛生兵(上等)	1				1				2	
銃工下士官	1								1	
合計	131		25		27		20		206	13

備考  
 一本表中前ハ兵三銃工兵二縫工兵二農工兵一蹄銃工兵二ヲ含ム  
 二攜十七羽ヲ携行ス

六

茨山方面警備行軍部隊將校職員表

隊號	職官	官等	氏名
中隊	中隊長	歩兵中尉	笠間哲行
第一小隊	第一小隊長	歩兵少尉	山内忠温
第二小隊	第二小隊長	同	武藤章
第三小隊	第三小隊長	歩兵准尉	生田新市
機関銃隊	小隊長	歩兵少尉	西川義弘
歩兵砲隊	小隊長	歩兵少尉	小田徳明
通信隊	小隊長	歩兵准尉	三枝高保
鳩分隊	分隊長	歩兵軍曹	中村富治

(二) 行動ノ概要

- 一 派遣間ニ於ケル行動ノ概要附圖ノ如シ
- 二 各自ノ行動左ノ如シ

第一日 自羅南(六月二十四日)宿营地茂山  
至茂山(小雨アリ)

- 一 六時營庭式台前ニ整列同六時三十分聯隊長ノ軍容検査アリ
- 二 六時三十五分營門出發羅南驛ニ向ヒ前進ス一同志氣益々旺盛ナリ
- 三 七時五十分左ノ如ク乗車ヲ完了

第一車輛	第二車輛	第三車輛	第四車輛
MG隊 小隊 小隊 小隊	七中隊主力	七中隊 及糧秣 一ヶ小隊	馬匹(十三頭) 藥
(客車)	(客車)	(有蓋貨車)	(同上)
			(同上)

四 八時五分羅南驛發茂山ニ向フ途中小茂山ニ於テ晝食同地國防婦  
人會員十数名ヨリ湯茶ノ接待ヲ受ク

五 十八時人馬其他異狀ナク茂山驛ニ到着當時在茂中ノ大隊長於  
保少佐及地方官民約三十名ノ出迎ヲ受ケ又於保少佐ヨリ對岸及

鮮内ノ情况特ニ匪情ニ関スル情報ヲ知得セリ

六十八時三十分左記警行命第五號ヲ下達シタル後設營者ノ指示ニ基キ夫々就宿セシム

警行命第五號

派遣中隊命令

六月二十四日十八時三十分  
茂山

(一)全日茂匪ノ主力約百六七十名ハ三道溝方面ニ遁走セルモノ、如ク尚其一部約三十名ハ三長對岸近クニ蠢動シ在リ

關東軍ノ大西部隊(大西大佐ヲ長トセル約二百五十名)ハ目下三長附近ニ駐留シ匪

團ノ情况ヲ搜索スルト共ニ同地附近ノ治安ノ維持ニ任シツ、アリ

(二)中隊ハ本夜茂山ニ宿營セントス

(三)勤務員左ノ如シ

- 1. 部隊曰直將校 山内少尉
- 2. 巡察將校(下士官) 小松曹長
- 3. 部隊衛兵 小野上等兵以下十二名(内喇合手一ヲ含ム)
- 4. 巡察 第一第二小隊ヨリ某分隊各一(時刻及行動區域ハ別ニ示ス)

(四)各小隊ハ設營者ノ指示ニ基キ舍營スヘシ

(四) 戦備ノ度左ノ如シ

(1) 各宿舍ハ少クモ一名ノ不寝番ヲ設クヘシ

(2) 一般ニ巻脚袴ヲ穿用

(3) 衛兵ハ三分ノ一ノ假眠ヲ許ス

(六) 警急集合場ハ驛前廣場トス各分隊毎ニ集合スヘシ

(七) 本夜ノ給養ハ舍主ノ供撰ニ依ル

(八) 日課時限ハ營内ノモノニ同シ

(九) 予ハ二十二時迄憲兵隊ニ爾後俱樂部ニ在リ

二十時命令受領者ヲ憲兵隊ニ差出スヘシ

派遣中隊長 笠間中尉

下達法

関係者ヲ集メ口達筆記セシム

七前記命令下達後茂山憲兵分遣隊ニ小隊長以上ヲ集合セシメ初鹿  
憲兵軍曹ヨリ管内一般ノ狀況特ニ匪團ノ情況ニ就キ説明ヲ求メ之  
ヲ聽取セシムルト共ニ曩ニ於保少佐ヨリ知得セル情報トヲ綜合シ左ノ  
狀況ヲ知ル

ノ五月中旬以來鮮内ノ一部及對岸滿嶺内ヲ襲撃セル匪團ハ全日成ノ率ニ  
ル約二百名内外ニシテ尙約九銃長銃拳銃ヲ以テ裝備セラレ殫瘁モ  
相當豊富ナルモノ、如ク而シテ其主力ハ三道溝西方山地方向ニ遁入  
セルモノ、如クナルモノ其一部約三十名ハ依然三長對岸近クノ滿嶺内ニ  
蠢動シアルモノ、如シ

2. 關東軍大西部隊(約二百五十名)ハ目下三長附近ニ駐留シアルモ明ニ  
十五日三道溝方面ニ行動ヲ開始スル予定ナリト

3. 三長警察署管内ニハ約二百名内外ノ警察官在リテ鮮内及對岸ノ  
警備ニ任シアリト

八二十時明二十五日行軍ノ爲左記警行命第六號ヲ下達ス  
警行命第六號

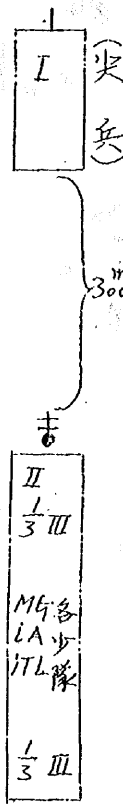
派遣中隊命令

六月二十五日二十時  
於 茂山

ハ匪情及大西部隊ノ狀況ニ関シテハ既ニ承知ノ通り

村中隊ハ明二十五日六時茂山出發新道ヲ三長ニ向ヒ前進セ  
ントス

(三) 各少隊ハ五時五十分迄ニ茂山驛前十字路ヲ中隊主力ノ  
先頭トシ路上ニ左ノ如ク集合スヘシ



(四) 高橋軍曹ハ別ニ示ス區分ニ基キ出發迄ニ彈藥ノ交付ヲ完了  
スヘシ

(五) 第三小隊長ハ部下一分隊ヲ以テ糧秣輸送ノ警戒ニ任スヘシ  
行動ノ細部ハ別ニ示ス

(六) 上木主計曹長ハ携行糧秣ノ區分ヲ爲シタル後第三小隊長ハ  
指揮ヲ以テ中隊主力ニ追及スヘシ

(七) 予ハ中隊主力ノ前方ヲ行進ス

派遣中隊長 笠間中尉

下達法令受領者及關係下士官以上ヲ集メ口達筆記セシム

九



第三日 自茂山（六月二十五日）宿營地三長

一、六時警行命第六號ノ如ク出發準備ヲ完了ス同時在茂中  
ノ大隊長於保少佐ヨリ左記要旨ノ注意ヲ受ケ勇躍六時十  
分茂山ヲ出發ス

記

一、屯營出發前ニ與ヘタル注意ニ基キ困苦欲至ニ堪エ行軍ノ目的ヲ  
達成セヨ

二、行軍宿營間ニ於テ特ニ彈藥ノ取扱ニ注意セヨ

二途中豪雨ニ逢フモ將兵ノ志氣益々旺盛ニシテ依然行進ヲ續行ス  
三十三時古寺徳山（興巖西方約二料ニシテ  
故佐藤中尉以下四名殉職地）北側ニ於テ自動貨車ハ  
輜ニ分乗セル大西部隊主力ニ邂逅シ情報ノ交換ヲ遂ケタルモ既  
ニ承知セルモノ、外新報ヲ得ス而シテ同部隊ハ二縱隊トナリ其一  
部ハ三長附近ヨリ對岸ニ渡河シ紅旗河以東地區ヲ其主力ハ茂  
山附近ヨリ豆滿江ヲ渡河シ何レモ金日成匪ノ主力ヲ追撃スヘク

行動中ナルヲ知ル

茲ニ於テ五ニ成功ヲ祈リツ、惜別ス

四十七時三十分人馬共異狀ナク三長ニ到着左記宿營命令ヲ下達ス

警行命第七號

派遣中隊命令

六月二十五日十七時三十分  
於 三 長

八、匪情ニ関シテハ新報ヲ得ス

大西部隊ハ全日戌匪ノ主力ヲ追ヒ三道溝方面ニ轉進ス

2. 中隊ハ本夜三長ニ宿營セントス

3. 勤務員左ノ如シ

(1) 部隊口直將校

生田 准尉

(2) 巡察將校

西川 少尉

(3) 部隊衛兵

三塚上等兵以下十二名(内喇叭手一ヲ含ム)

(4) 巡察

各歩兵少隊ヨリ各一分隊(時刻行動區域ハ別命ス)

4 各小隊ハ生田准尉ノ指示ニ基キ舍營スヘシ

上 戦備ノ度ニ関シテハ不寝番ヲ二名トス此外前夜ニ同シ

ト警急集合場ハ町内中央廣場トス各小隊毎ニ集合スヘシ  
ク本夜ノ給養ハ携行糧秣ニ依ル即刻受領者ヲ現在地ニ差出スヘシ  
ハ日課時限ハ營内ノモノニ同シ

予ハ二十時迄警察署後渡辺方ニ在リ

十九時命令受領者ヲ警察署前ニ差出スヘシ

派遣中隊長 笠間 中尉

下達法 口達筆記セシム

五十八時ヨリ約一時間ニ亘リ曹長以上警察署ニ集合シ同署員ト情  
報會議ヲ開催シ情報ノ交換ヲ爲シ匪團ノ侵襲狀況ヲ詳細ニ知ル  
ヲ得タリ其概要附録第一ノ如シ

六十九時中隊長ハ三長ニ一部ヲ殘置シ同地附近ノ警備ヲ安維持  
ニ任セシメ主力ハ依然明二十六日農事洞ニ向ヒ前進スルニ決シ左記  
命令ヲ下達ス

記

二

警行命第八號

派遣中隊命令

六月二十五日十九時  
於 三 長

1. 匪情ニ関シテハ既ニ承知ノ通り

2. 中隊ハ一部ヲ三長ニ残置シ主力ハ明二十六日八時三長出發農  
事洞ニ向ヒ前進セントス

3. 生田准尉ハ部下小隊(無線一分隊ヲ屬ス)ヲ以テ舊三長守備隊ニ  
駐留シ同地附近ノ警戒並治安ノ維持ニ任スヘシ

行動ノ細部ハ別命ス

4. 爾余、主力ハ八時迄ニ三長西端ヲ先頭トシ路上縦隊ニ集合ス

ヘシ

5. 行軍序列左ノ如シ



6. 上木主計曹長ハ第一小隊ノ兵五名ヲ區處シ糧秣ノ輸送ニ任スヘシ  
細部ニ関シテハ別ニ示ス

ク予ハ中隊主カノ前方ヲ行進ス

派遣中隊長 笠間 中尉

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

七右命令下達後一般ニ左記注意ヲ爲ス

1. 軍紀風紀ヲ特ニ至嚴ニスヘシ
2. 匪團ハ三長近郊ニ出没シアル現況ナルヲ以テ警戒心ヲ益ニ旺盛ニスヘシ
3. 彈藥ノ取扱上特ニ眞管類及浸濕セル彈藥等ヲ直接火ニ當テ乾燥セサルコト
4. 感冒予防及寢冷ニ注意セヨ
5. 被服乾燥セハ卷脚襪ヲ穿用スヘシ
6. 靴傷予防上明日、行軍ニハ地下足袋ノ穿用ヲ許ス

八二十時三長殘置隊長タル生田准尉ニ左ノ如キ行動ノ憑據ヲ内示ス

生田准尉ニ與フル内示

ノ自衛、爲スハ不期ニ匪團ニ遭遇スルニ在ラサル場合、外計画的ナル匪團

一二

トノ交戦ニ関シテハ中隊長ノ指示ヲ受クヘシ

但シ常ニ搜索偵謀警戒ヲ周密ニシ事前ニ敵ノ行動ヲ看破シ彼ニ先チ  
其ノ機先ヲ制スルノ著意ヲ最モ緊要トス

苟モ彼ニ乘セラル、カ如キコト断シテアルヘカラス

之カ爲著意事項左ノ如シ

(1) 一度戦闘ヲ決心スルトキハ断乎トシテ徹底的ニ膺懲シ遲疑逡巡スルカ  
如キコトアルヘカラス

(2) 兵クヲ分散スヘカラス 之カ爲少数ノ兵カヲ遠ク離隔シテ派遣シ又ハ  
警戒勤務ニ服セシメサルコト

(3) 任務達成ノ爲小隊長以下地方官憲ト圓満妥當ナル協調ヲ保ツコト  
2. 警戒ノ基礎左ノ如シ

(1) 晝間

イ 主トシテ展望哨(長以下四名)

ロ 適宜巡察ヲ派遣

ハ 行軍ハ三長ヲ中心トシ鮮内地ヲ三里以内トス

(2) 夜間

イ 衛兵(長以下七名)

ロ 弁候(長以下六名以上)

- (3) 八巡 察 (長以下四名以上ヲ道官派遣)  
 二 不寝番 (二名以上)  
 薄暮及黎明
- (4) 不炊煙 露營 火火定ニ依ル 搜索ニ著意シ 專任者ヲ指定シテ監視  
 其他ハ示セル 区分ニ依ル

一三

第三日

自三農事洞(六月二十六日)

宿營地農事洞

一八時中隊主力ハ予定ノ如ク農事洞ニ向ヒ行軍ヲ開始シ途中降雨ニ逢フモ將兵ノ志氣益々旺盛ニシテ何等事故ナク十六時農事洞ニ到着

二十六時三十分左記宿營命令ヲ下達シ夫々就宿セシム

警行命第九號

派遣中隊命令

六月二十六日十六時三十分 於農事洞

一、匪情ニ関シテハ既ニ承知ノ如ク前ノ高地附近ニハ時々出没スルモノ、如ク金平ノ指揮スル約三十名ノ匪團ハ前ノ高地ノ北側谷地附近ニ蠢動スルモノ、如シ

當地警察隊ハ目下越境討伐中ナリ

2. 中隊ハ當分當地ニ村落露營ヲ實施ス

3. 吉田上等兵ハ部下分隊(長以下十二名)ヲ以テ後刻示ス地點ニ位置シ警戒ニ任スヘシ細部ハ別ニ示ス



4. 三枝准尉ハ吉田分隊——駐在所間ニ電話網ヲ構成スヘシ  
5. 爾餘ノ部隊ハ小川准尉ノ指示ニ基キ就宿スヘシ  
6. 勤務員左ノ如シ

(イ) 部隊日直將校 小川准尉

(ロ) 巡察將校 小松曹長

(ハ) 巡察 第一第二小隊ヨリ各一分隊(行動ノ細部ハ別ニ示ス)

7. 高橋軍曹ハ吉田分隊後方ノ家屋ニ彈藥ヲ集積スヘシ

8. 警急集合場ハ本道上

9. 予ハ崔鎮中方ニ在リ

派遣中隊長 笠間中尉

下達法

曹長以上ヲ集メ口達ス

三十七時小隊長及指揮班幹部ヲ集メ同地附近ノ地形特ニ匪團來襲時ノ處置等ニ関シ指示ヲ爲ス

四十八時小川准尉ヲ駐在所ニ派遣シ情報ノ蒐集ニ努メシメタルモ新報ヲ得ス

第四日

農事洞 (六月二十七日) 附 (小雨アリ)

宿營地 農事洞

一五時中隊ハ夜間ノ警戒ヨリ晝間ノ警戒配備ニ移更シ一部ヲ以テ展望哨及軍哨ヲ配置シ直接ノ警戒ニ任シ爾餘ノ主力ハ武器被服ノ手入ヲ實施セシム

二九時ヨリ十五時ノ間ニ農事洞駐在所ノ通報及三長生田准尉ノ報告ニ依リ左記情報ヲ知ル

記

一、二十六日十五時ヨリ行動ヲ開始シ二隊トナリ討伐ニ越境セル三長警察隊ノ一部農事駐在所署員十八名ハ同日十八時四十分頃〇一二五〇(農事洞東北方約八軒附近)ニ於テ約三十名ノ匪團ト遭遇交戦シ敵ニ相當ノ損害ヲ與ヘタルモ、如クナルモ詳細不明本隊關ニ於テ同署員二名負傷ス又主カタル三長警察署長以下(四九名)ハ同シク〇一二五〇高地方向ニ向ヒタルモ其後ノ行動詳ラカラス而シテ右負傷者ハ二名三長ニ護送セリト  
二、十五時頃三長署長ノ率ユル主力タル警察隊ハ直洞(農事東北方約九軒附近)ニ於テ十数名ノ匪團ト遭遇交戦シ之ニ相當ノ損害ヲ與ヘタルモ詳

細不明ニシテ同署員一名胸部ニ首貫ノ負傷セリト

三、七警察官ノ負傷ヲ知リタルヲ以テ十五時頃三長署ニハ生田准尉ヲ農事署ニハ小川准尉ヲシテ夫々見舞セシム

四、十五時明二十八日行軍實施ノ爲左記命令ヲ下達セリ

警行命第一〇號

派遣中隊命令

六月二十七日十五時  
於農事洞

一、對岸近ク蠢動スル匪團約三十名ハ昨二十六日以來我カ警察隊

ト二回ニ亘リ遭遇交戦セルモ今尚撃滅スルニ至ラス

又一昨二五時甑山(鮮内地ニシテ農事洞西南約十二軒附近)ニ三名ノ

匪賊現レ鮮人人夫一名ヲ立木ニ縛著農事方面ニ遁送セルモ其後

ノ情況不明ナリ

二、中隊ハ明二十八日主力ヲ以テ三水坪一部ヲ以テ柳谷洞附近ニ行軍

ヲ實施セントス

三、山内少尉ハ部下小隊(一ヶ分ヲ欠キ無線ヲ屬ス)ヲ率ヒ農事洞—元四洞—柳谷

洞間ノ行軍ヲ實施スヘシ但三元四洞西南約八軒ノ間ハ軌道車ヲ



夕予ハ七時駐在署前ニ在リ

派遣中隊長 笠間中尉

下達迄

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

五二十時頃廣坪(農事西方約ニ軒)東北方高地ニ炊煙ト思ハルモノ  
立昇ルトノ警戒兵ノ報告ニ接セルヲ以テ第一隊ニ警急集合ヲ命ジ自  
ラ之ヲ率ヒ搜索セルモ霧深ク不明ナルヲ以テ二十四時宿营地ニ歸還  
セリ

第五日

農事洞—柳谷洞間（六月二十八日）  
農事洞—三水坪間（雨）

宿營地 農事洞

一八時中隊ハ予定ノ如ク集合シ先ツ山内少尉ハ軌道車ヲ利用シ柳谷洞ニ向ヒ前進次テ中隊主力モ三水坪ニ向ヒ行軍ヲ開始ス降雨ナレト一同ノ志氣極メテ旺盛ナリ

二山内少隊ハ元四洞ニ於テ中隊主力ニ第一回ノ連絡ヲ爲シ次テ柳谷洞ニ向ヒ前進シ豫定ノ行軍ヲ終ヘ十七時三十分農事洞ニ無事歸還スルモ匪情ニ関シ新情ヲ得ス

三中隊主力ハ途中紅巖西北方約三軒附近ニ於テ焚火ヲ爲ス三名ヲ目撃シ三水及紅巖駐在署ニ連絡之ヲ調査セルモ良民ナル事判明セルヲ以テ依然行軍ヲ續行十三時目的地ニ達シ同地附近ヲ搜查セルモ異狀ヲ認めサルヲ以テ十四時三十分同地出發十九時無事農事洞ニ歸還セリ其行軍経路附圖第一ノ如シ

四此日匪情ニ関シテハ何等新情ヲ得サルモ三長警察隊主力ノ行動ハ明カトナリ今明日中ニ三長ニ歸還ノ豫定ナルヲ知ル

第六日

農事洞 (六月二十九日)  
附 近 (曇)

宿營地農事洞

一七時 戦闘射撃實施ノ爲左記命令ヲ下達ス

警行命第一一號

派遣中隊命令

六月二十九日七時  
於 農事洞

一 匪情ニ関シテハ新情ヲ得ス

三 長警察隊ノ主クハ三長ニ歸還セリ

二 中隊ハ本日重火器ノ戦闘射撃ヲ實施セントス射撃開始ハ十一時

ト豫定スルモ別命ス

三 小田少尉ハ豫テ準備セル所ニ依リ聯隊砲ノ射撃ニ関シ計畫實施  
施スヘシ

四 西川少尉ハ機関銃ノ射撃ニ関シ計畫實施スヘシ

五 示号標ニ変アルニ曰ノ丸二本ヲ植立スヘシ又射向ハ滿領直洞方向

トシ細部ハ現地ニ於テ指示ス

六 射撃實施以外ノ部隊ハ十時三十分迄ニ駐在所前ニ集合シ之ヲ

見學スヘシ

夕予ハ八時以降駐在所前ニ在リ

派遣中隊長 笠間中尉

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

二諸情報ヲ綜合スルニ農事洞及三長對岸ニ近ク蠢動スル匪賊ハ其  
兵力約三十名内外ニシテ警察力ヲ以テ十分ノ力鎮壓及鮮内ノ  
治安維持ヲ爲シ得ルヲ認メタルヲ以テ豫定ノ如ク明三十日當地出  
發歸還ノ途ニ就クニ決シ左記命令ヲ下達セリ

警行命第一二號

派遣中隊命令

六月二十九日二十一時  
於 農 事 洞

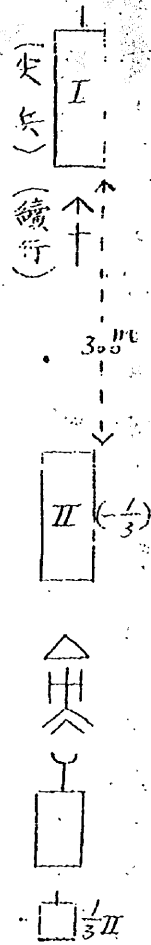
一、匪情ニ関シテハ新情ヲ得ス

二、中隊ハ明三十日七時農事洞出發三長ニ向ヒ行軍ヲ實施セントス

三、各小隊ハ六時五十分迄ニ農事洞東端ヲ先頭ニ路上縱隊ニ在ル



如ク集合スヘシ



4. 小川准尉ハ第一第二小隊ノ兵各三名ヲ指揮シ輸送荷物ノ警戒ニ任スヘシ行動ノ細部ニ関シテハ別命ス

5. 予ハ六時三十分以後農事洞東端ニ在リ後第二小隊ノ前方ヲ前進ス

派遣中隊長 笠間 中尉

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

三十三時頃三道溝大西部隊長ヨリ農事洞駐在所ヲ經テ左記要旨ノ電話アリ

記

金日成匪ノ主力ノ行動ハ其後不明ニシテ萬一ノ場合ヲ考慮スル

一九

時ハ農事對岸方面ニ移動スルヤモ知レス目下ニ於ケル農事方面ノ情況ヲ通報セラレ度  
トノ連絡アリタルヲ以テ當方面ノ匪情ハ其後變化ナキモノノ如シト  
回答セリ

第七日 自農事科(六月三十日) 宿营地 三長

一七時豫定ノ如ク行勅ヲ開始シ十五時無事三長ニ到着同地ニ宿營スルニ決シ左記命令ヲ下達ス

警行命第一二號

派遣中隊命令

六月三十日 十五時 三長

1. 匪情ニ関シテハ新情ヲ得ス

2. 中隊ハ本夜三長ニ宿營セントス

3. 各隊ハ生田准尉ノ指示ニ基キ就宿スヘシ

4. 勤務員左ノ如シ

(イ) 部隊日直將校 生田准尉

(ロ) 部隊衛兵 銀島上等兵以下十二名

(ハ) 巡察將校 小川准尉

(ニ) 巡察 第一第三小隊、各一分隊(行動ハ別ニ示ス)

5. 警急集合場ハ町内中央廣場トス

6. 本夜、給養ハ携行糧秣ニ依ル即刻受領者ヲ差出スヘシ

二〇

久予八町内中央金活榎方ニ在リ

派遣中隊長 笠間 中尉

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

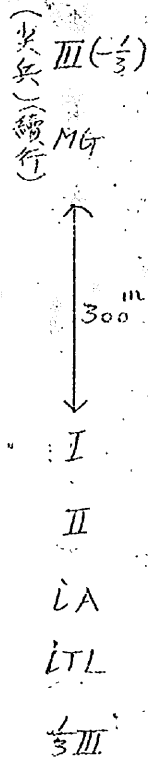
二十六時三長警察署ニ小隊長以上集合情報ノ蒐集ニ努メタルモ新情ヲ得サルヲ以テ明一日三長ヲ出發スルニ決シ十七時左記命令ヲ下達ス

警行命第一三號

派遣中隊命令

六月三十日十八時  
於 三 長

1. 匪情ニ関シテハ既ニ承知ノ通り
2. 中隊ハ明七月一日七時三長出發與巖ニ向ヒ行軍ヲ實施セントス
3. 各小隊ハ三長橋西端ヲ先頭ニ六時五十分迄ニ左ノ如ク集合スヘシ



4. 上木曹長ハ糧秣輸送ニ関シ區處スヘシ
5. 小川准尉ハ兵五名ヲ指揮シ輸送ノ爲メ警戒ヲ兼テ茂山ニ先行シ鐵道輸送ニ関シ處理スヘシ
- 細部ニ関シテハ別ニ指示ス
6. 予ハ中隊主力ノ前方ヲ行進ス

派遣中隊長 笠間 中尉

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

第八日 自三長(七月一日) 宿營地 興農

一中隊、豫定、如ク七時三長出發十六時興農ニ到着ス  
二九時大西部隊ニ左記事項ヲ通報ス

一、農事消滅近對岸、小匪團ハ依然直利附近ニ蟠居シアルモ、如クナルモ其  
行動ハ詳ラカラス主カト、合流今尚實現ニナルモノト豫想セラル  
場匪ノ行動ニ就テハ御承知、如ク其後新報ヲ得ス  
二、當隊ハ三日竊途茂山間ニ在リ豫定

三十七時同所駐在所ニ於テ左記要旨ノ情報ヲ收集セリ

記

六月二十日二十二時三十分頃系統不明ノ約二百名ノ匪團(輕機二挺各自  
小銃携行)ハ延吉縣天寶山金鑛及同部落ヲ襲撃シ同鑛山建物並警  
察官駐在所ヲ全燬セシメ食糧其他物資多數ヲ掠奪シ部落民ヲ拉致  
之ヲ携行セシメ翌日七月一日四時部隊ヲ集結ス南下移動セリト  
之ヲ陸賊ヲ討伐、爲三道溝ニ待機中ノ大西部隊ニ四〇名及滿軍二〇〇  
滿警二〇〇ハ直ニ出勤討伐中ナリト

四十六時本夜、宿營及明日、出發ノ爲左記命令ヲ下達ス

三二

警行命第一四號

派遣中隊命令

七月一日十六時  
於 巖

1. 匪情ニ関シテハ天寶山襲撃匪團ノ外新報ヲ得ス
2. 中隊ハ本夜興巖ニ宿營セントス
3. 各小隊ハ別ニ指示スルニ依リ夫々就宿スヘシ
4. 勤務員左ノ如シ
  - (一) 部長 日蓮將校
  - (二) 副部長 新 兵
  - (三) 板 准尉
  - (四) 退 臺 新 兵
  - (五) 武 藤 少 尉
5. 警急集合場ハ興巖橋梁南方廣場トス
6. 本夜ノ糧秣ハ携行糧秣ニ依リ即刻受領若ク差出スヘシ
7. 予ハ崔文衡方ニ在リ

派遣中隊長 笠間 中尉

下達法 口達筆記セシム

警行命第一五號

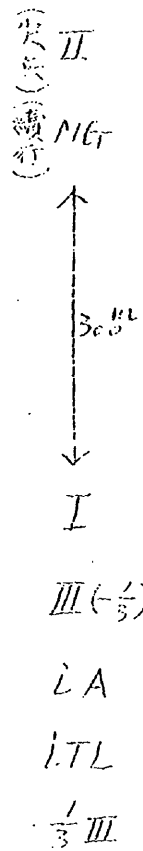
派遣中隊命令

七月一日十六時三十分  
於 巖

1. 匪情ニ関シテハ其後新情ヲ得ス

2. 中隊ハ明ニ日七時興巖洞出發茂山ニ向ヒ行軍ス

3. 各小隊ハ六時五十分迄ニ興巖橋南方路上ニ左ノ如ク集合スヘシ



(尖兵) (續行)

4. 小松曹長ハ指揮班ノ兵三名ヲ率イ先發シ茂山ノ設營ニ任スヘシ

細部ハ別ニ示ス

5. 予ハ中隊主クノ前方ヲ前進ス

派遣中隊長 笠間中尉

下達法

口達筆記セシム

五. 二十時前頃情報ヲ聯隊長ニ報告ス



第九日

自興

巖(七月二日)  
山(雨)

宿營地 茂山

一中隊ハ豫定ノ如ク七時興巖出發途中降雨ニ逢フモ十三時無事  
茂山ニ到着セリ一同極メテ志氣旺盛ナリ  
二十三時同地到着ト同時ニ左記情報ヲ知ル

記

匪團約二十名ハ三長對岸ニ水坪(三長北方約八軒)ヲ昨一日二時  
襲撃細部ハ明カナラス

三十四時前項匪情ト共ニ部隊ノ情况ヲ聯隊長ニ報告ス  
四十四時十分宿營ノ爲左記命令ヲ下達ス

警行命第一六號

派遣中隊命令

七月二日十四時十分  
於茂山

一、昨一日二時三長對岸ノニ水坪ハ約二十名ノ匪團ニ襲撃セラレタ  
ルモノ、如クナルモ詳細ナラス

二、中隊ハ本夜茂山ニ宿營セントス宿營區分左ノ如シ

(1) 憲兵隊道場 第一小隊及指揮班

(2) 小學校講堂 第三小隊 歩兵砲 機関銃

(3) 警察署道場 第二小隊及通信

3. 勤務員左ノ如シ

(1) 部隊日直將校 山内少尉

(2) 同 日直下士官 各宿舎一名

(3) 部隊衛兵 日野上等兵以下十二名(内判官一ヲ含ム)

(4) 巡察新技 小田少尉

(5) 巡察 第一第二第三小隊ヨリ各五(細部ハ別ニ示ス)

4. 警急集合場ハ驛前廣場トス

5. 本夜ノ糧秣ハ携行糧秣ニ依ル各小隊ハ直ニ受領者ヲ憲兵分遣隊前ニ差出スヘシ

6. 予ハ憲兵隊ニ在リ

十六時命令受領者ヲ同所ニ差出スヘシ

派遣中隊長 笠間中尉

一 運法

命令受領者ヲ集メテ白達筆記セシム

五十六時所三日歸隊ノ爲左記命令ヲ下達ス

警行命第一七號

派遣中隊命令

七月二日十六時  
於 茂山

1. 匪情ニ関シテハ新情ヲ得ス

2. 中隊ハ予定ノ行動ヲ終ヘ明七月三日七時五十分茂山出發汽車

輸送ニ依リ羅南ニ歸還セントス

3. 各小隊ハ七時二十分迄ニ驛前廣場ニ集合スヘシ

4. 輸送ノ爲ノ勤務員左ノ如シ

(1) 人員搭載掛 山内少尉

(2) 荷物搭載掛 武藤少尉

(3) 馬匹搭載掛 小田少尉

(4) 兵器搭載掛 各關係小隊長

(5) 彈藥搭載掛 高橋軍曹

各搭載掛ハ七時三十分迄ニ搭載ヲ完了スヘシ

5. 予ハ七時以後茂山驛ニ在リ

派遣中隊長 笠間 中尉

二五

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

六十七時一般ニ左記要旨ノ注意ヲ爲ス

1. 彈藥ノ取扱ニ特ニ注意シ危害ヲ未然ニ防止スヘシ
2. 各自携行彈藥ハ十八時迄ニ高橋軍曹ニ返納スヘシ
3. 落紛矢ナキ様注意ノコト
4. 被服ヲ乾燥シ襦袢ハ全部着換ヘ感冒予防ニ注意ノコト
5. 借用物品ノ返納及購入諸品ニ對スル支拂ヲ完全ニスルコト
6. 敬禮ヲ嚴正ニ行フコト
7. 水ヲ節約シ又生水ノ飲用嚴禁ノコト
8. 暴飲暴食ヲ慎ムヘシ
9. 警戒心ヲ弛ムヘカラス

第十日 自茂山(七月三日) 宿營地 羅南

一中隊ハ豫定ノ如ク七時五十分茂山發途中小茂山ニ於テ荷物ノ積ミ換工等ヲ實施シ十五時三十分羅南驛著行軍ニ依リ無事歸隊ス時ニ十七時ナリ

二十八時頃聯隊長ノ訓示アリ

三十八時四十分命ニ依リ混成中隊ノ編成ヲ解キ續イテ防疫事項ヲ

實施シ茲ニ其任ヲ終了セリ

四左記規定ニ依リ防疫ヲ實施ス

記

警備行軍歸還時防疫實施規定

- 一 衛生部將校ハ部隊到着時營庭ニ於テ防疫的問診ヲ行ヒ異常者ヲ區分スヘシ
- 二 歸還部隊ハ別ニ指示スル時刻ニ遊谷少尉ノ指示ニ基キ武器器具携行品等ヲ上長官々舎ニ置キ煮沸消毒ニ耐スルモノヲ攜行シテ歩兵砲隊各場ニ於テ入浴後更衣スヘシ
- 三 之ヲ為各所屬中隊殘留者ハ遊谷少尉ノ指示ニ基キ之ヲ準備シナスヘシ

二六

3. 歸還者全員ニ對シニ回菌檢索ヲ實施スルニ付六月五日及同月十二日入時迄ニ  
便ヲ取纏メ原田曹長ニ交付スヘシ
- 又肉眼的檢便ヲ實施ス其細部ハ別ニ指示ス
4. 歸還部隊營内居住者ハ所屬中隊ニ隔離シ第一回菌檢索ノ成績陰性ト  
トキハ之ヲ解除ス
5. 隔離中ハ中隊外ノ諸勤務ヲ免除シ炊事酒保及其他中隊等ノ出入ヲ禁シ  
食餌分配食器消毒其他外部ト連絡ハ中隊殘留者ニ於テ擔任スヘシ
6. 隔離中ノ入浴ハ歩兵砲隊浴場ヲ用ヒ其間歩兵砲隊ノ入浴ハ第一大隊師  
通信隊ハ第三大隊聯隊通信隊ハ第二大隊ノ浴場ヲ使用スヘシ
7. 隔離中隊兵舎及厠出入口ニハ靴履消毒盤及手洗用消毒水ヲ配置スヘシ
8. 夏衣袴襦袢袴下褌等ノ若表被服ハ入浴場ニ設置シ盥各少尉ノ指示  
依リ浴場ニ於テ煮沸スヘシ
9. 水筒飯盒及刺ハ糧秣委員ノ指示ニ依リ煮沸スヘシ
10. 銃帽戰帽背囊類ハ「フオルマリン」消毒ヲ實施スヘシ
11. 鏡ハ木製部ヲ三五%「クレゾール」水ニテ擦拭シタル後日光消毒スヘシ